

みんなで話し合いながら確定申告に向けて記帳を徹底的にサポートー中央・西ブロックー

記帳相談会で確定申告の準備を進める

中央・西ブロックは21日、民商会館で相談会を開催しました。

野上会長の「申告の準備として、生命保険料の控除証明や国保・年金のハガキの保管」「消費税・インボイス」「市長選挙」について触れる挨拶がされた後、自主計算パンフレットの『自主記帳と自主計算』を読み合わせました。



参加した駅前の飲食業の会員は、融資を受けるため市民税申告から税務署申告へと変更。民商の日計表で日々の記帳をすすめ、自主計算ノートへ転記して月別・年へと集計していくという進め方を話し合い今後はバッチリ。

「高校生の子供がバイトをしているが扶養にできるか?」「16歳未満は扶養控除にならないんだよね?」という申告に関する疑問や「お客さんでインボイスを要求する人が出てきそう」「最近はずいぶんコロナで、取引先としか飲みに行けなかった人も制限が緩和されてきているようだ。忘年会などに期待している」という商売の状況も出し合われました。

また参加者の中には昨年の確定申告の更正請求の相談にきた方も。介護保険の減免申請で否認通知が届いた際に申告の誤りを発見。集計し直して更正請求の準備をしています。

万代の読者の方は、国葬・統一教会・ロシアなど様々な問題について語っていききました。日常的な記帳が経営改善はもちろん、銀行融資、各種助成金の申請にも役立ちます。今年もあと2ヶ月。確定申告に向けてみんなで話し合いながら準備しましょう!

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
22年10月31日

みんなで民商共済会の
大腸がん検診を受診しよう

毎年、新潟民商共済会で秋に実施している「大腸がん検診」を今年も実施します。

現在、大腸がんはがんの死亡数の中で第2位となっています。しかし早期発見すれば重症化せずに完治できる病気です。

共済会では共済加入者に補助を出し無料で受診することができます(未加入者は500円)。みんなで検診を受診しましょう。また未加入者の方は、この機会に共済に加入しましょう。

今年の検診容器の回収日は
11月8日事務所必着となります



新潟市長選挙結果

当	中原八一	151,887票	55,595票
投票率	32.10%		



ご奮闘いただいたみなさんに感謝申し上げます。感染症禍での中小業者支援、特に現在の物価高騰の下での直接支援制度の創設、来年10月から始まるインボイス制度の中止など、国言いなりではなく中小業者本位である市政を求めてさらに奮闘していきましょう。

選挙戦ですずきさんは不急の公共事業を見直して市民のためにお金を使うことを公約。給食費の無償化や完全給食化の実現などは子育て世代からの共感が多く寄せられました。ご奮闘いただいたみなさんに感謝申し上げます。



新潟市長選

市民・中小業者本位の市政求めて
力を合わせ、さらに奮闘しよう

23日に投開票された新潟市長選挙。民商も参加するチェンジにいがた代表委員のすずき映さんが善戦するも当選には至りませんでした。

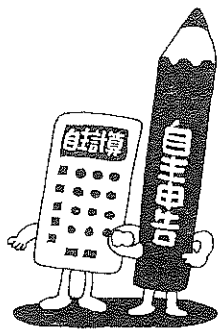
日程

・第4回常任理事会	11月1日
・インボイス中止大集会	11月6日
・省庁交渉・署名提出	11月7日

残高試算表で自社の状況を把握

法人決算学習会 開催 — 松浜支部

松浜支部では20日、法人決算の学習会を開催し2名が参加しました。今回は主に残高試算表の見方について学習。残高試算表は銀行等から提出を求められ、内容についても問い合わせが来る場合もあります。また、各月の売上や経費、利益を一目で確認する事ができるため、どの月が黒字・赤字なのかなどを把握する事ができます。参加者は「残高試算表が貸借対照表と損益計算書に分かれている事も知らなかった」「数字を聞かれても答えられる自信が無い。繰り返し学習したい」と話しました。また、前期と当期の売掛金や買掛金などを決算時にまとめて仕分けする「洗い替え」についても説明。洗い替えは間違いではありませんが、月々の経営状況を正確に掴むには、請求が発生した時に計上する必要があるため、記帳の手間は増えますが、正確な試算表を作るには「発生主義」で記帳した方が良いという事を学習しました。



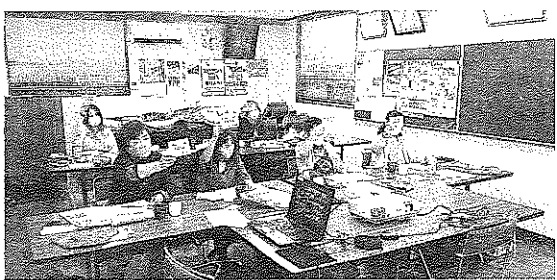
全国の活動に元気で勇気ももらえた

全婦協第34回定期総会

10月23日に全婦協定期総会（オンライン併用）が開催され、317人が出席。新潟県からは7名がオンライン参加しました。塚田全婦協会長から「集まって労いをたたえ合いたいと思っていたが叶わなくて残念です。国が声を聞くとは、考えること、対策を取ること…しかし何も対策がとられていない。来年の業者婦人決起集会ではみんなで集まりたい」と挨拶がありました。

全体討論では56条の意見書採択（奈良、消費税・インボイス学習会（静岡）、役員作り・部員訪問（大阪）、部員拡大・56条（滋賀）など10名の代表から発言がありました。

参加した代議員からは「コロナ禍で集まれないとはいえ全国は工夫しながら集まっています。新潟も今後の活動に活かしていきたい」「全国の発言を聞いて元気で勇気ももらえたし目が覚めるようだった」と話し、今後への新たな決意を申し合いました。



本音で話し合える仲間づくりをすすめよう 同業者交流会・建築業

日時:11月11日(金) PM7:00

会場:民商会館

建築業の方を対象に資材高騰やインボイス制度など中小企業の経営を圧迫する様々な問題などについて交流します。

仲間で、知恵を出し合い商売を続けるためにはどのような事が必要かを話し合います。

「所得税法第56条の廃止を求める請願」
「日本軍慰安婦問題の解決を求める請願」

二つの署名をまわりにひろげよう！

婦人部は10月から2つの署名に取り組みます。所得税法第56条は、白色申告の家族従業者の給与を経費として認めず配偶者86万円・親族50万円しか控除となりません。第56条には戦前の家制度のなごりがあります。家族従業者の多くは女性であり、第56条の廃止はジェンダー平等、女性の地位向上につながります。

慰安婦問題は、第二次世界大戦時の日本軍による女性の人権侵害として日本が解決を迫られている問題です。政府は「解決済み」といいますが、国連から被害者の救済と権利を認めるよう勧告されています。政府に慰安婦問題を解決するよう求めます。婦人部は、憲法と女性差別撤廃条約にもとづくジェンダー平等を目指します。

